



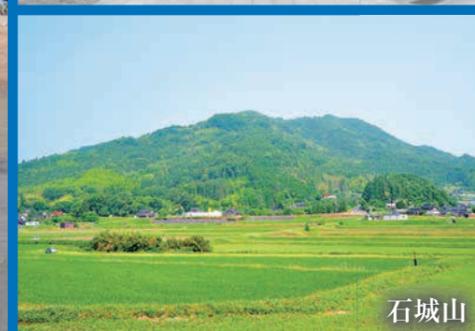
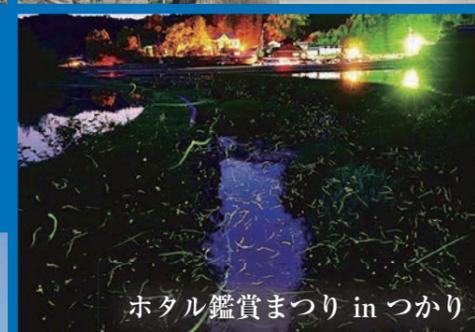
光市観光アクションプラン

平成30年(2018)3月

山口県光市



光市観光 アクションプラン



平成30年3月 光市



目次

はじめに	1
1 策定の背景と目的	2
2 計画の位置付け	3
3 計画の区域	4
4 計画期間	4
第1章 観光の現状と課題	5
1 観光の現状	6
2 光市観光基本構想の総括	10
3 アンケート調査結果	13
4 本市における観光の課題	18
第2章 目標と施策展開	21
1 基本方針	22
2 アクションプランの方向性	24
3 総合評価指標	25
4 アクションの体系	27
5 アクションの内容	28
第3章 達成状況の評価	36
1 目標の進行管理	37
2 目標の評価指標	38
3 施策の推進にあたって	39
参考資料	40
1 光市観光アクションプラン策定懇話会設置要綱	41
2 光市観光アクションプラン策定懇話会委員	43
3 アンケート調査（郵送調査）	44
4 アンケート調査（現地調査）	48

市長あいさつ

「観光」という言葉は、中国の古典の一説、「観国之光」（国の光をよく観察する）が語源とされ、「国の文化・政治・風俗をよく観察すること」、「国の風光・文物を外部の人々に示すこと」の意味を有していると言われています。

「観光」は、人々の生活に安らぎや生きがいといった豊かさをもたらすだけでなく、交流人口の拡大を通じた地域経済への波及効果、さらには、地域資源や歴史・文化などの情報発信によるまちのイメージと知名度の向上など、多様な可能性を秘めています。

本市は、全国トップクラスの日照時間を有する温暖な気候に恵まれ、自然敬愛の精神のもと先人から守り伝えられてきた虹ヶ浜・室積の両海岸をはじめとする山・川・海などの美しい自然、一年を通じて四季折々の花が咲き誇る冠山総合公園、初代内閣総理大臣伊藤博文公や第二奇兵隊にゆかりのある歴史・文化など、数々の観光資源を有しています。

しかし一方で、本市の観光地としての全国的な知名度は低く、土産物や飲食店の充実をはじめとする観光資源の魅力発掘や磨き上げが長年の課題となっていました。

こうした中、本市では、平成29年3月に「第2次光市総合計画」を策定し、20年後を展望した将来像「ゆたかな社会～やさしさひろがる 幸せ実感都市 ひかり～」を掲げるとともに、政策の一つとして「観光の振興と交流促進」を定めました。そして、このたび、この計画を具現化するための行動計画として、「光市観光アクションプラン」を策定しました。

今後、市民や関係機関の皆様と協働しながら、本プランに掲げた施策一つひとつを着実に推進し、まちの新たな魅力発掘や賑わいづくり、さらには、交流人口の拡大を目指してまいります。

終わりに、本プラン策定にあたり、それぞれの立場から貴重な御意見、御提言をいただいた「光市観光アクションプラン策定懇話会」の委員の皆様をはじめ、アンケート調査などにご協力いただいた多くの皆様に対し、心からお礼申し上げます。

平成30年3月

光市長 市川 熙



はじめに

- 1 策定の背景と目的
- 2 計画の位置付け
- 3 計画の区域
- 4 計画期間



室積海岸

1 策定の背景と目的

本市は、室積・虹ヶ浜海岸、峨嵋山、石城山、冠山総合公園をはじめとする豊かな自然や、初代内閣総理大臣伊藤博文公の生家、石城山神籠石、早長八幡宮秋まつり等に代表される歴史的・文化的遺産など多種多様な資源と風土を有しています。

本市の目指す「観光」は、そこに暮らす私たちがこれらの資源の素晴らしさを認識するだけでなく、「知恵と工夫」により観光資源として魅力を高め、愛着と誇りを持って未来に伝えるとともに、こうした観光資源に多くの観光客が訪れることによる人の交流が、地域の経済に大きな効果をもたらし、さらに、地域のにぎわい創出や活性化につながっていくことです。

国においては、観光を成長戦略と地方創生の柱と位置付け、観光先進国に向けた取組みを加速するため、平成29年3月に「観光立国推進基本計画」を閣議決定し、また、県においても、平成29年3月に「おいでませ山口観光振興計画」を策定し、明治維新をテーマとした観光キャンペーンや記念事業の施策展開を図るなど、官民一体となった観光振興への取組みを強力に推進しています。

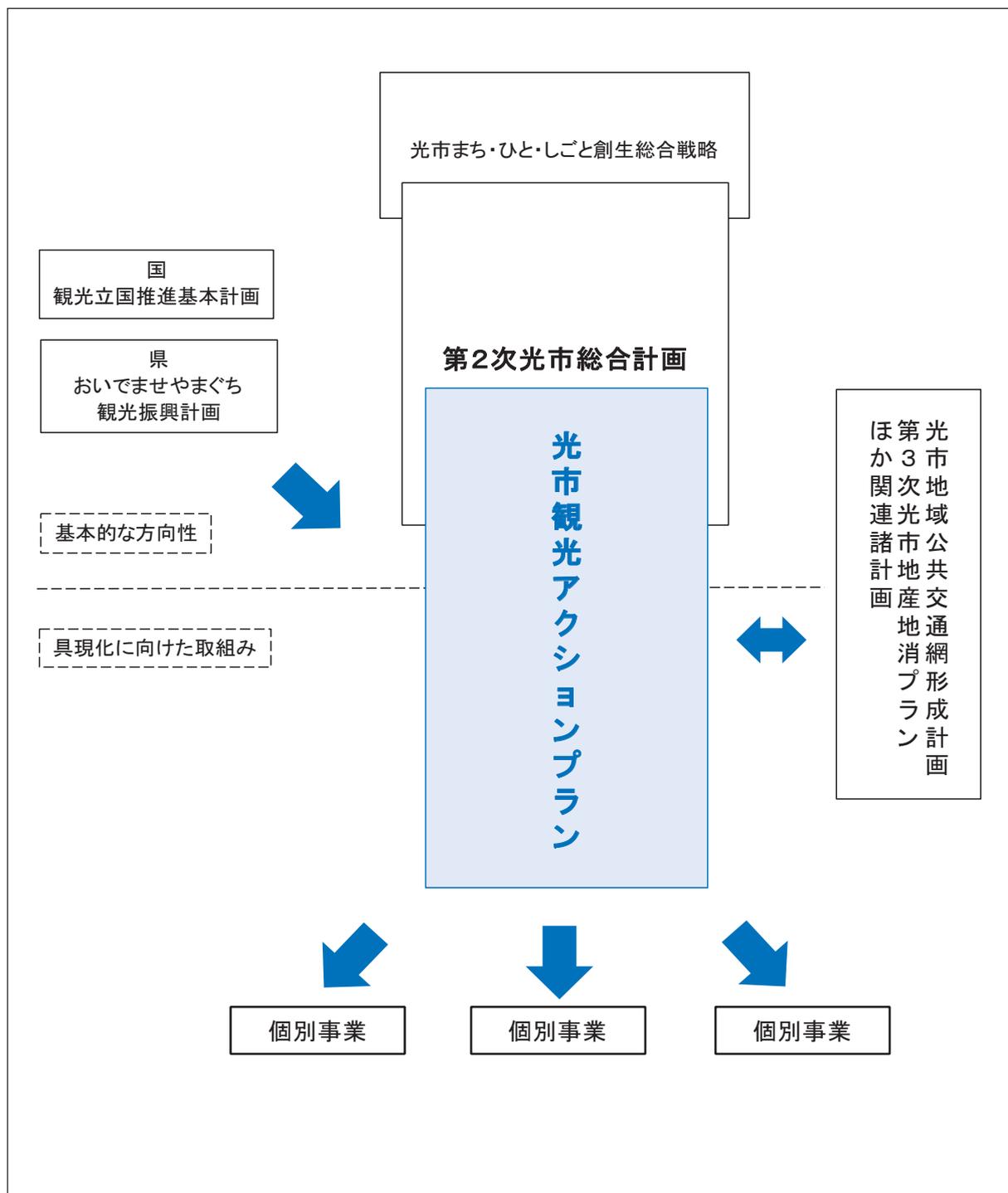
こうした中、本市においては、平成19年3月に策定した「光市観光基本構想」が平成28年度をもって10年間の計画期間を終えましたが、引き続き、本市の観光振興を図るため、平成27年12月策定の「光市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた、「『光』の発掘！発信！知名度向上戦略」を踏まえつつ、平成29年3月に策定した「第2次光市総合計画」を往來の基本構想部分と位置付け、これに基づいた取組みを具現化する計画として「光市観光アクションプラン」を策定します。



早長八幡宮 秋まつり

2 計画の位置付け

本プランは、「第2次光市総合計画」の政策の一つに掲げた「観光の振興と交流促進」を具現化するための計画として位置付けるもので、国の「観光立国推進基本計画」、山口県の「おいでませやまぐち観光振興計画」、光市の「光市地域公共交通網形成計画」や、「第3次光市地産地消プラン」などの関連諸計画と整合性を保ち連携しながら、観光振興を図ることとします。



3 計画の区域

本計画の区域は、光市の全域とします。

4 計画期間

計画の期間は、平成30年度から平成34年度の5年間とします。



光まつり

第1章

観光の現状と課題

- 1 観光の現状
- 2 光市観光基本構想の総括
- 3 アンケート調査結果
- 4 本市における観光の課題

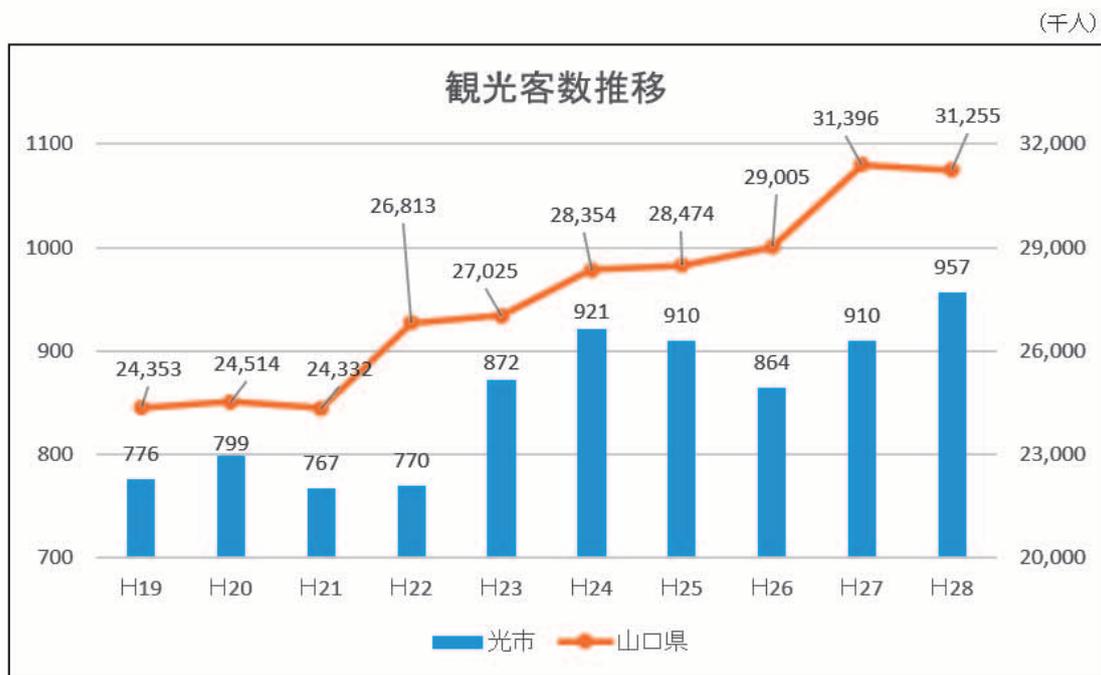


梅小町

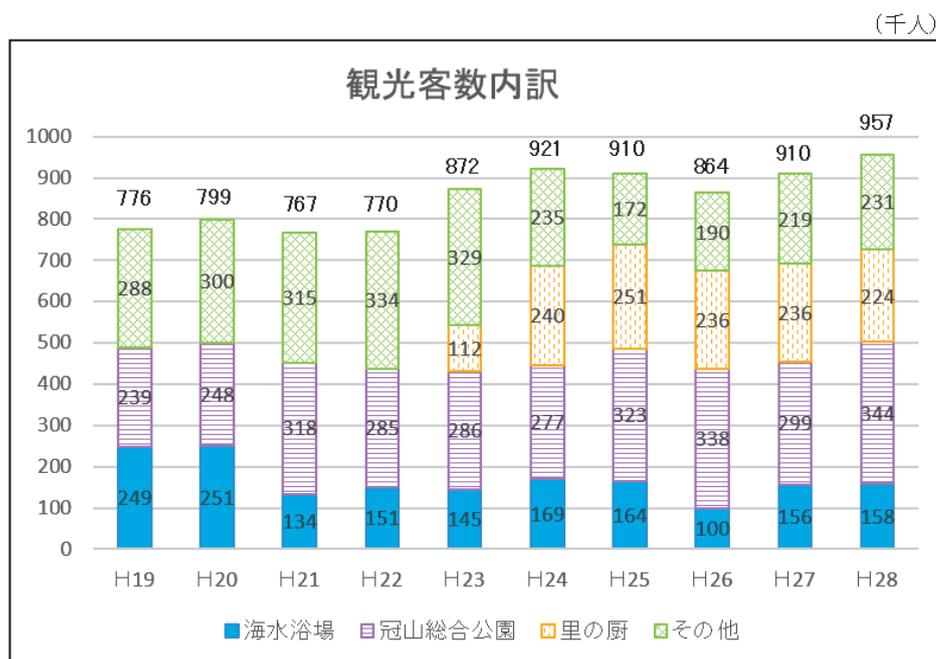
1 観光の現状

本市においては、平成18年度に策定した「光市観光基本構想」に基づき、虹ヶ浜での花火大会の開催や四季折々の花を活用したシリーズイベントの開発、歴史・自然をテーマに巡る観光ルート of 構築、観光案内所の設置など、各種施策を展開してきました。この構想が、平成28年度をもって10年間の計画期間を終えましたが、引き続き、本市の観光振興を図るため、平成27年度策定の「光市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた「『光』の発掘！発信！知名度向上戦略」を踏まえつつ、平成28年度に策定した「第2次光市総合計画」を往來の基本構想部分と位置付け、これに基づいた取組みを具現化する計画として「光市観光アクションプラン」を策定することとなりました。

本市の過去30年間における観光客数の最高値は、海水浴客が80万人を超えた、平成6年の113万4,000人ですが、「光市観光基本構想」策定後の平成19年には77万6,000人となりました。その後、平成23年の光市農業振興拠点施設「里の厨」のオープンや、平成24年の三島温泉健康交流施設「ゆーぱーく光」のオープン、また、平成20年から開始されたイベント「ばら祭」や「みたらい湾花火大会」などの開催により、平成28年には95万7,000人となっています。

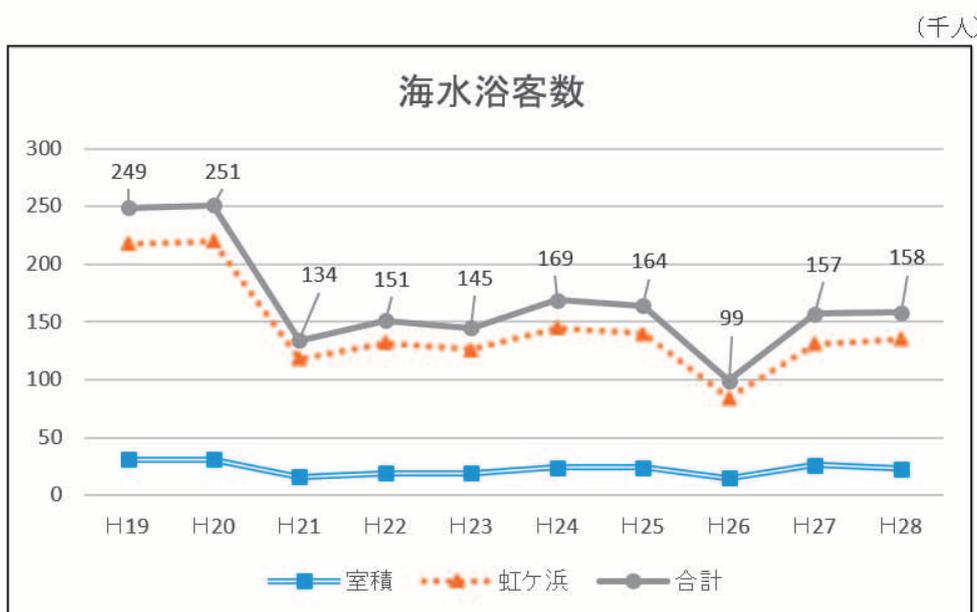


本市の主な観光地の観光客数内訳を見ると、市全体の観光客数に対し、海水浴客や冠山総合公園、里の厨に大きく依存しています。主要観光施設の観光客数の推移は、以下の通りです。

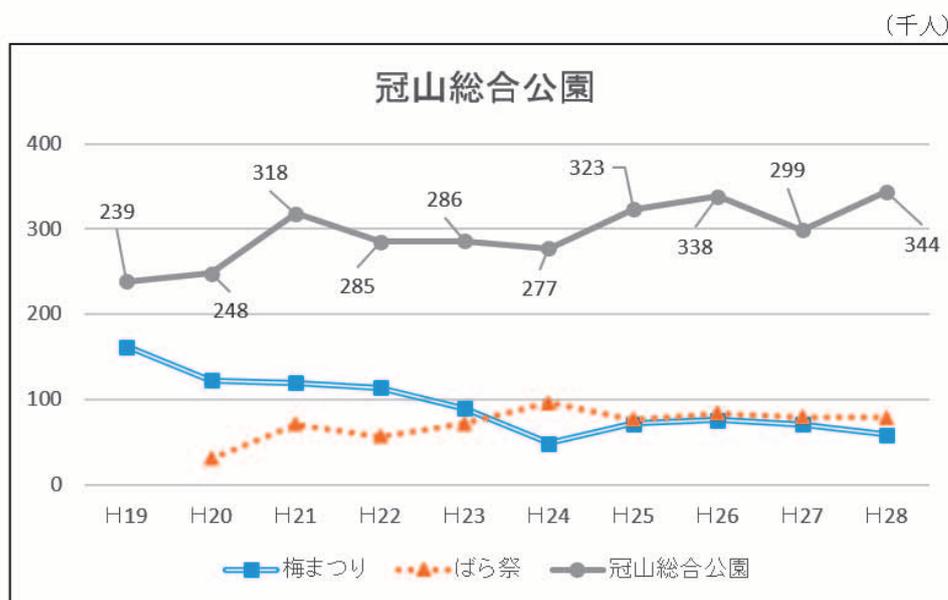


海水浴客数は、室積海水浴場は、年により多少の増減はありますが、毎年2～3万人前後の海水浴客が訪れていて、海水浴客数が固定化してきています。

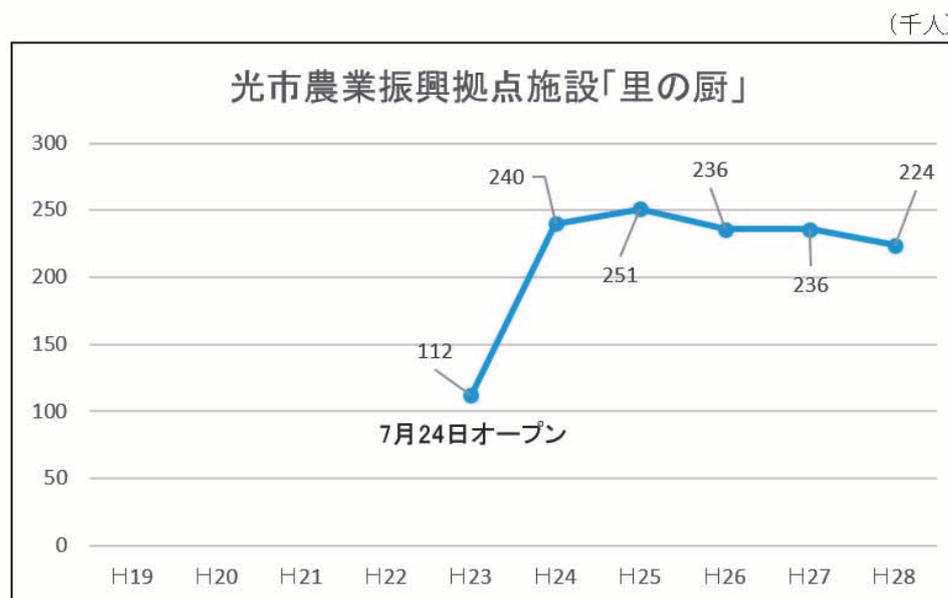
一方、虹ヶ浜海水浴場の海水浴客数は天候に大きく左右され、平成21年は7月にあった中国・北部豪雨の影響や梅雨明けが8月上旬にずれ込んだこともあり、海水浴客が大幅に減少していて、平成22年以降は、客数が15万人前後で推移しています。平成26年も同様に、悪天候による海水浴客数の減少がありました。



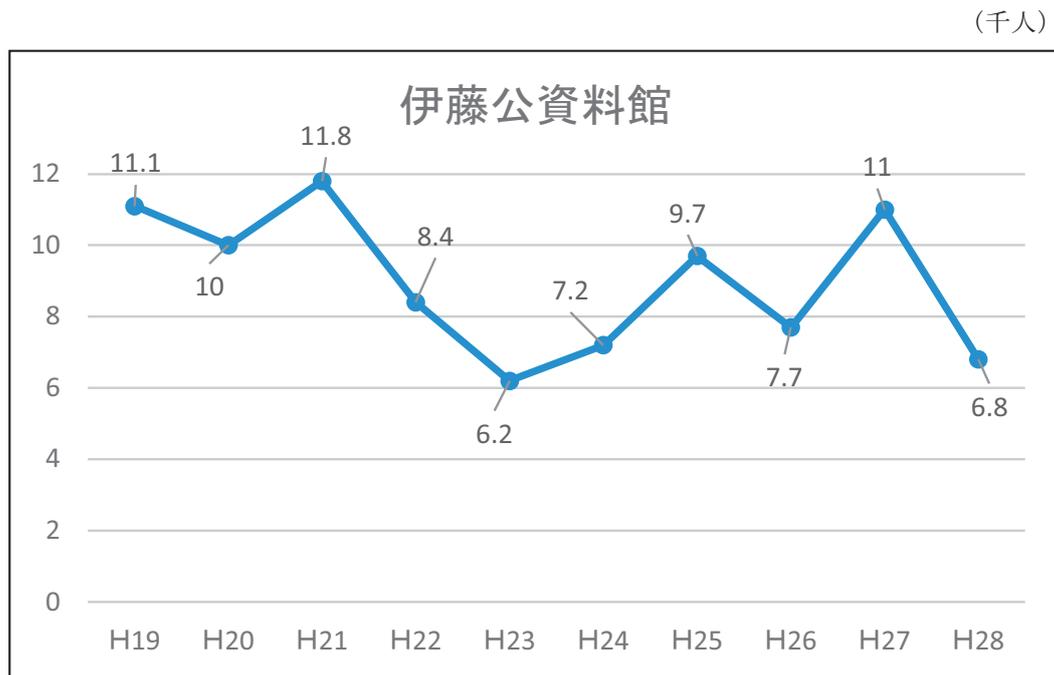
冠山総合公園は、平成19年では、観光客数の半数以上を「梅まつり」が占めていましたが、現在は徐々に減少していき7万人前後で推移しています。一方で、平成20年に始まった「ばら祭」の認知度が徐々に高まり、現在は「梅まつり」と同等か、それ以上の集客をしています。この2つのお祭りが、冠山総合公園の集客数の多いお祭りとなっていますが、2月の「梅まつり」から、4月の「さくら坂」、そして、「ぼたん祭」、「ばら祭」、「しょうぶ祭」へと続く「光の花物語」、夏の「水鉄砲大会」や「サマージャズフェスタ」、秋の「灯花祭」や「秋のばら祭」、冬の「創作イルミネーション」を実施しており、一年を通して、公園と周辺の観光資源を結ぶ賑わいの創出に取り組んでいる成果が現れており、近年では観光客数は30万人前後で推移しています



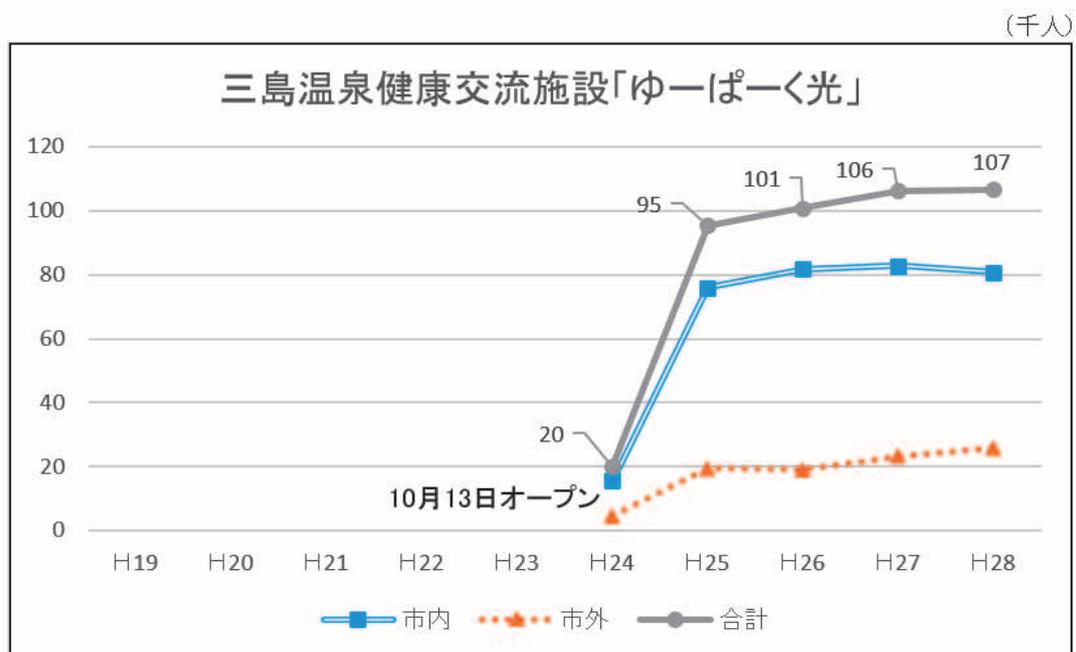
光市農業振興拠点施設「里の厨」は、平成23年7月24日のオープンより、客数は年間23万人前後で推移しています。



伊藤公資料館は、大河ドラマや企画展などの開催等により客数は前後しますが、年間7,000～1万人程度で推移しています。



三島温泉健康交流施設「ゆーぱーく光」は、平成24年10月13日のオープンより、客数は年間10万人前後で推移しています。また、開館5周年を迎える前の平成29年9月9日に来館者が50万人を突破しました。



2 光市観光基本構想の総括

平成18年度に策定した「光市観光基本構想」では、基本理念として『来て・観て・感じて』感光都市・ひかり 人と自然と 歴史が織り成すストーリー」を掲げ、光の魅力がひとときを輝くまちづくりを推進していくための指標として量的目標と質的目標を定めました。

(1) 量的目標

目標策定時の平成17年の観光客数77万5,000人に、本市の潜在的観光客数を考慮した量的目標として、平成28年度の観光入込客数を年間100万人としました。

平成28年度 観光入込客数の目標 100万人／年

平成28年の山口県観光動態調査による光市の観光客数は95万7,000人で、達成率は95.7%でしたが、策定時と比較し、18万2,000人（対平成17年比+23.5%）の増となりました。

(2) 質的目標

観光客の様々なニーズに対応した受入れ環境の整備を進めるとともに、四季を通じて、観光客に喜ばれる観光地づくりを目指し、本市観光資源の再評価と再構築、戦略的な観光施策を展開し、通年型の観光地としての魅力向上と地域活性化の推進を図るため、3つの質的目標を定めました。

光市の魅力を感じることができる観光地づくり

テーマに応じた観光メニューが選択できる観光地づくり

ホスピタリティ（*1）の向上による、市民と観光客との交流社会の実現

*1 ホスピタリティ 心のこもったもてなし。手厚いもてなし。歓待。また、歓待の精神接客・接遇の場面だけで発揮されるものではなく、人と人、人とモノ、人と社会、人と自然などの関わりにおいて具現化されるものである。

【10年間の成果】

「光市観光基本構想」に基づく10年間の主な成果

光市の魅力を感じることができる観光地づくり

- スターライトファンタジーの充実強化（平成19年6月～）
渚のライトアップとして継続（平成23年7月～）
- 観光ガイドブックの改訂（平成26年10月）
- 英語版観光ガイドブックの作成（平成27年7月）
- 観光ポスター「歴史版・花版・夏版」の作成（平成27年9月）
- 新たなにぎわいの創出
 - 「サマージャズフェスタ」（平成23年8月～）
 - 「創作イルミネーション」（平成24年12月～）
 - 「オープンガーデン」（平成25年5月～）
 - 「水鉄砲大会」（平成26年8月～）
 - 「伊藤公生家茅屋根葺き替え」（平成27年2月～）
 - 「明治維新150周年カウントダウン記念企画展 伊藤ドラマ」（平成27年9月～）

テーマに応じた観光メニューが選択できる観光地づくり

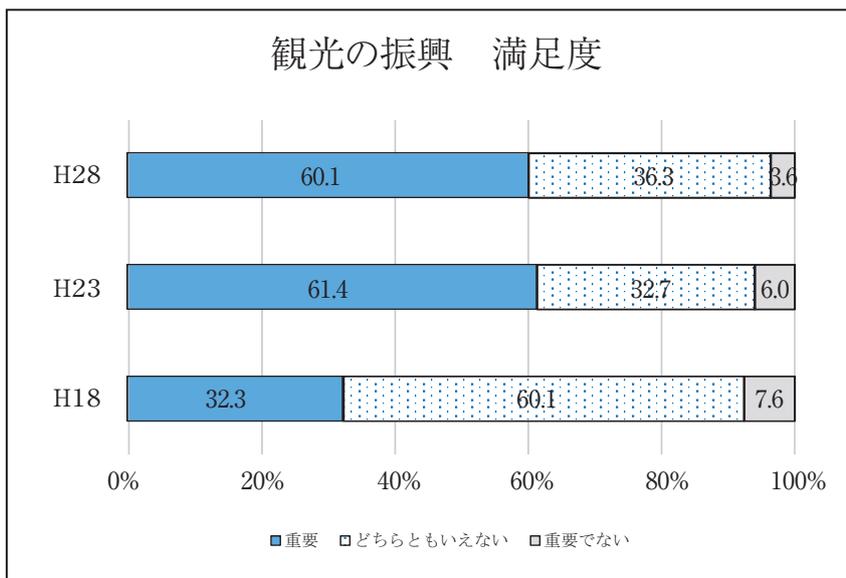
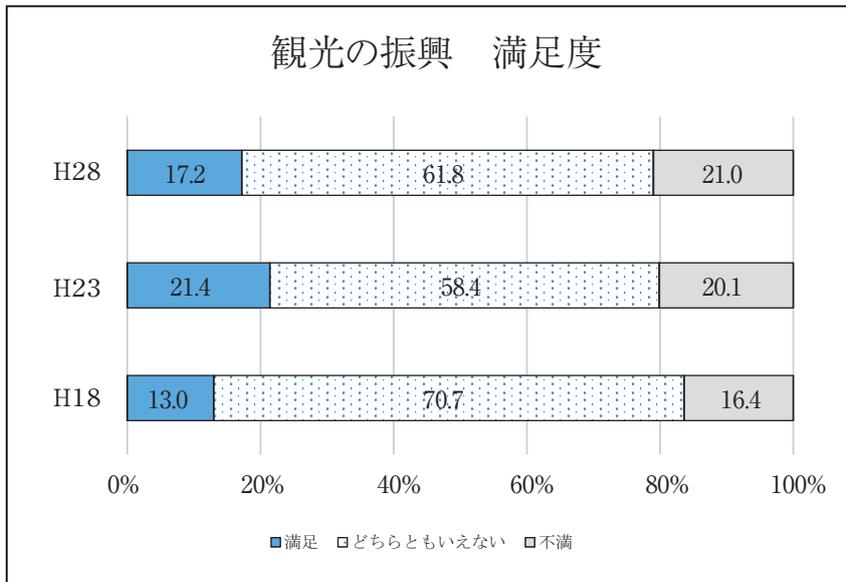
- 冠山総合公園において、ぼたん祭、ばら祭、しょうぶ祭りと続く「光の花物語」を開催（平成20年4月～）
- R188観光連絡協議会の設置（平成19年9月～平成25年2月）
岩国錦帯橋空港利用促進協議会に移行（平成25年3月～）
- 体験型旅行誘致推進事業（平成26年2月～）
- 周南広域観光連携推進協議会の設置（平成27年6月～）

ホスピタリティの向上による、市民と観光客との交流社会の実現

- 冠山総合公園内に観光案内所を移転設置（平成25年9月～）
- 室積ボランティアガイド「古地図を片手にまちを歩こう」を開催（平成28年9月～）
- 世界大会・全国大会の開催
 - 「2011 おいでませ！山口国体 おいでませ！山口大会」（平成23年10月）
 - 「第23回世界スカウトジャンボリー」（平成27年7月）
 - 「ねんりんピックおいでませ！山口2015」（平成27年2月）
 - 「平成28年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）」（平成28年8月）

【10年間の評価】

本市の観光の振興について、市民アンケートによる満足度と重要度の推移をみると、平成18年と比較し、平成28年は「満足・やや満足」、「重要・どちらかという重要」の数値が上昇していますが、一方で「不満・やや不満」の数値も上昇しています。これによると、本市の観光政策は、市民から大きな関心が寄せられているものの、あまり満足できる状況にはないと判断しています。



3 アンケート調査結果

現地調査

場所	冠山総合公園		室積・虹ヶ浜海水浴場
	梅まつり	ばら祭	
期間	平成29年 2月11日 ～3月 5日	平成29年 5月 6日 ～6月21日	平成29年 7月15日 ～8月20日
回答数	204件 (県内：県外=169件：35件)	106件 (県内：県外=92件：14件)	116件 (県内：県外=71件：45件)
	合計426件 (県内：県外=332件 (77.9%) : 94件 (22.1%))		

郵送調査

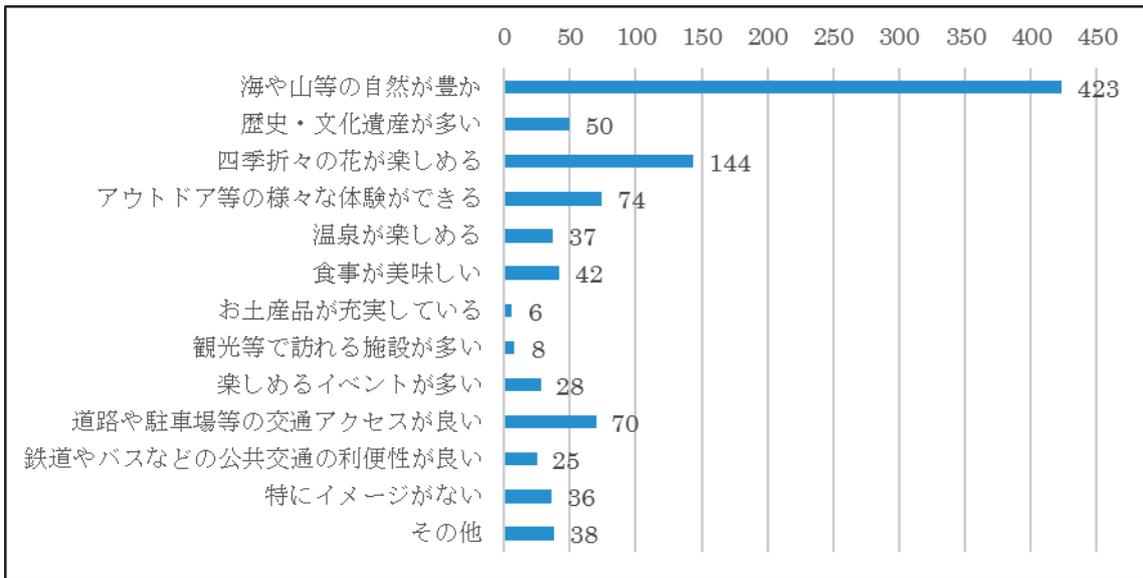
対象	19歳以上の、光市への転入者及び光市からの転出者各1,000人(合計2,000人) 無作為抽出
期間	平成29年7月1日～7月15日
回答数	503件 (回収率25.2%)

(1) 光市のイメージについて

「海や山等の自然が豊か」が423人(43.1%)、次いで「四季折々の花が楽しめる」が144人(14.7%)、「アウトドア等の様々な体験ができる」が74人(7.5%)となっています。

【郵送調査】

(人)

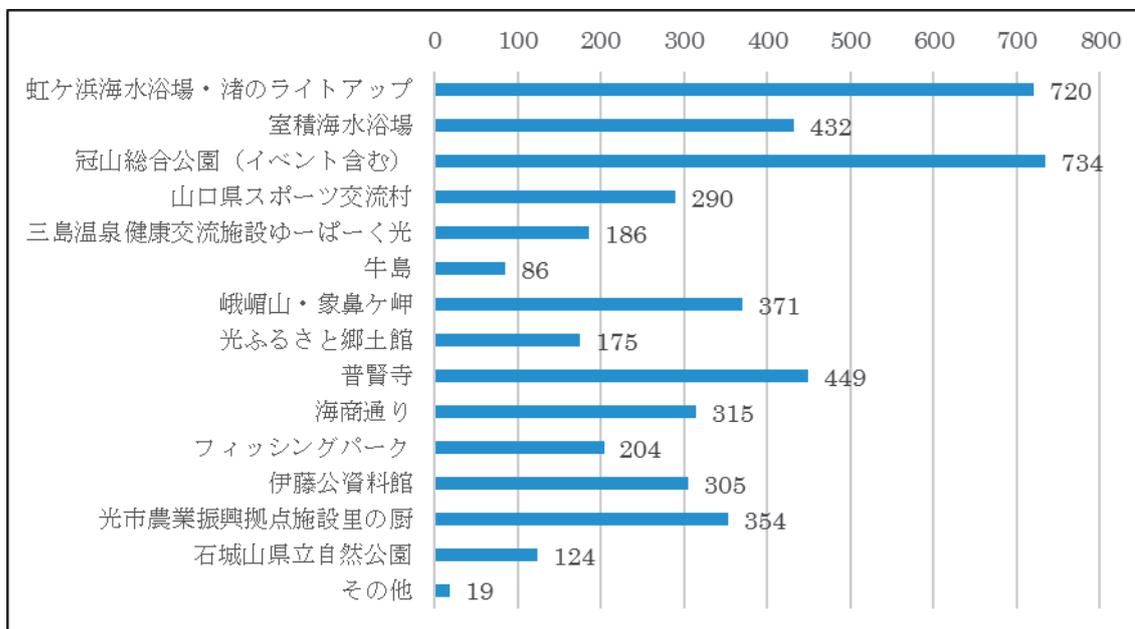


(2) 訪れたこと（予定）のある場所について

「冠山総合公園」、「虹ヶ浜海水浴場」、「普賢寺」、「室積海水浴場」、「峨嵋山・象鼻ヶ岬」、「里の厨」を訪れたこと（予定）のある場所を選択した方が多くなっています。

【郵送調査+現地調査】

(人)

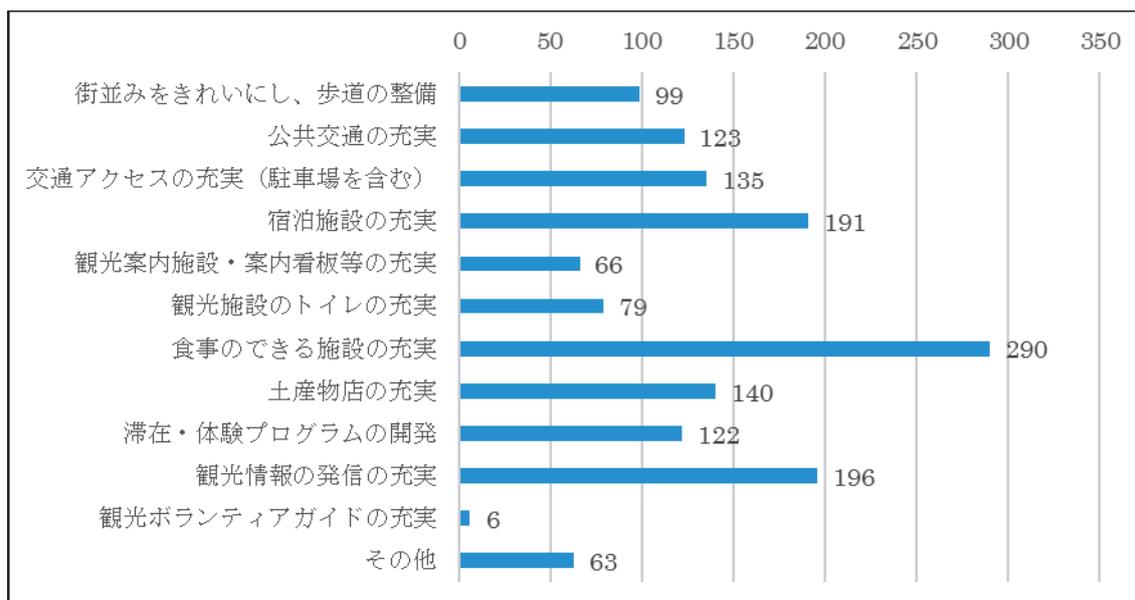


(3) 魅力度向上

「食事のできる施設の充実」、「観光情報の発信の充実」、「宿泊施設の充実」、「土産物店の充実」の回答が多くあり、自由記述にも同様の事項が多く寄せられています。

【郵送調査】

(人)

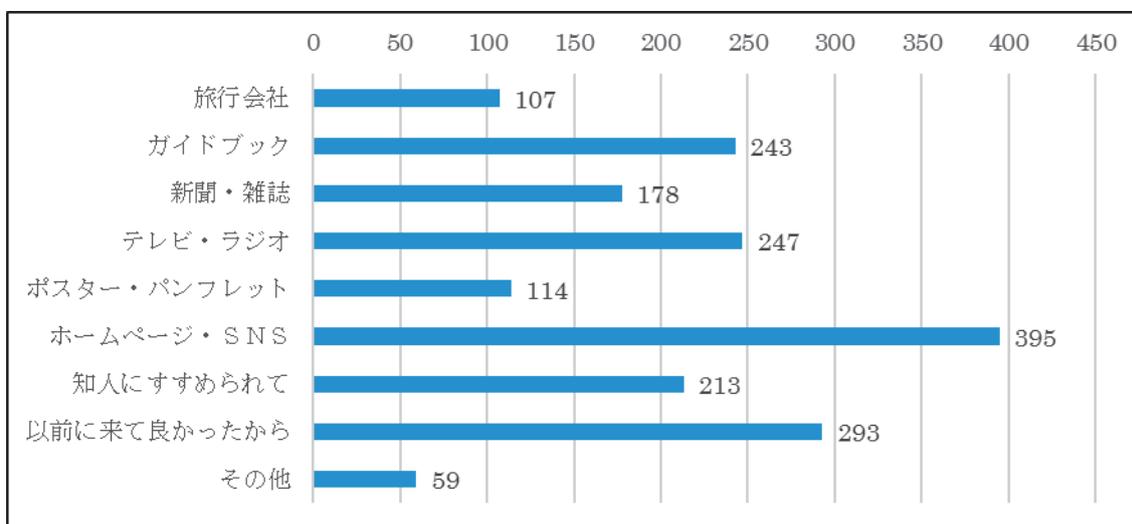


(4) 情報源について

「ホームページ・SNS」、「以前来て良かったから」、「テレビ・ラジオ」、「ガイドブック」、「知人にすすめられて」を選択した方が多くなっています。

【郵送調査+現地調査】

(人)

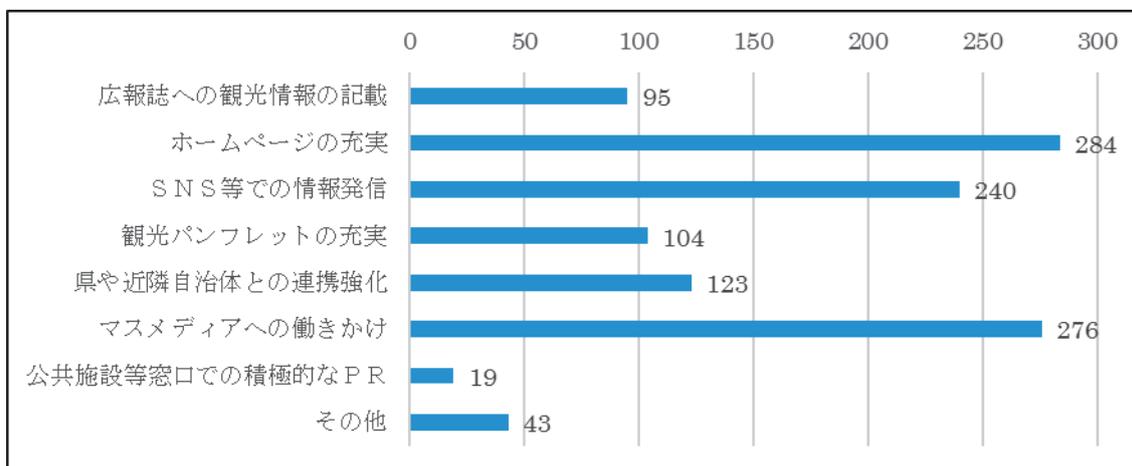


(5) 観光情報発信を充実させる手段

「ホームページの充実」、「マスメディアへの働きかけ」、「SNS等での情報発信」の回答が多くなっています。

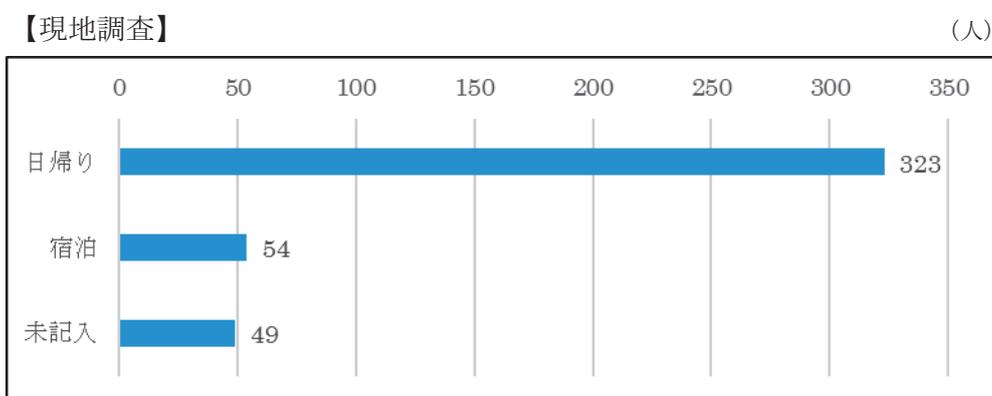
【郵送調査】

(人)



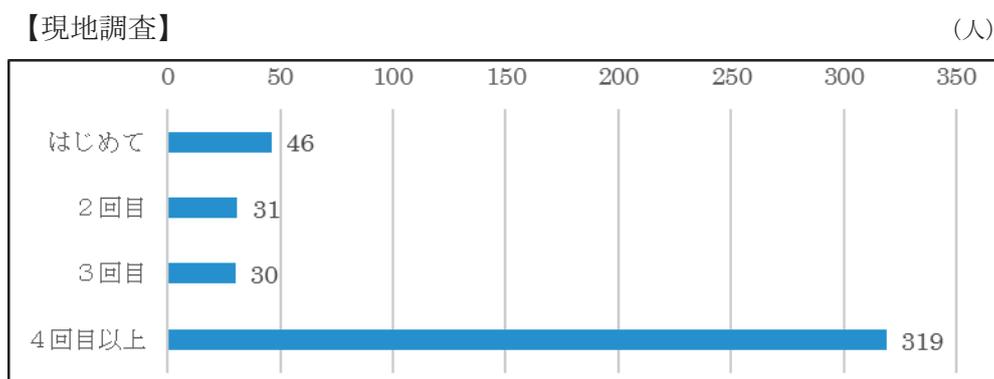
(6) 滞在期間

「日帰り」が298人(78.2%)、「宿泊」が36人(9.5%)で「日帰り」の平均滞在時間は2.21時間となっています。なお、「宿泊」は1泊が多くなっています。



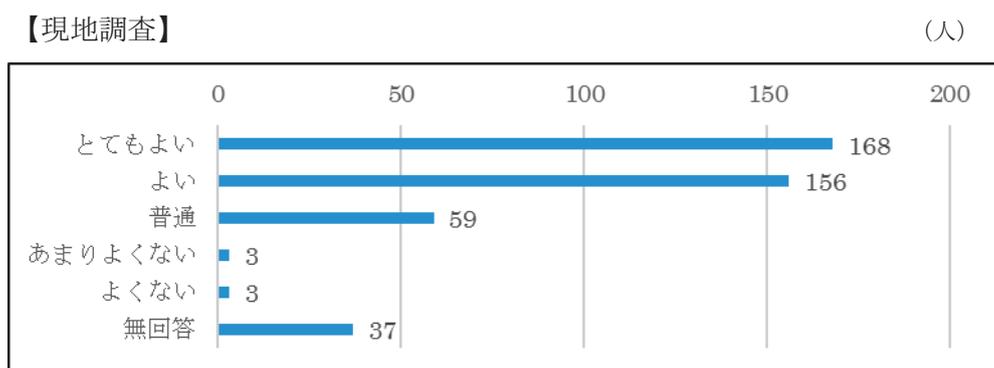
(7) 訪問回数について

「4回目以上」が319人(75.1%)、「2回目」が31人(7.3%)、「3回目」が30人(7.0%)となっており、リピーターが9割を超えています。「はじめて」が46人(9.7%)となっています。



(8) 光市の印象について

「とてもよい」が168人(39.4%)、「よい」が156人(36.6%)と、よい印象を持っている人が76.1%となっています。

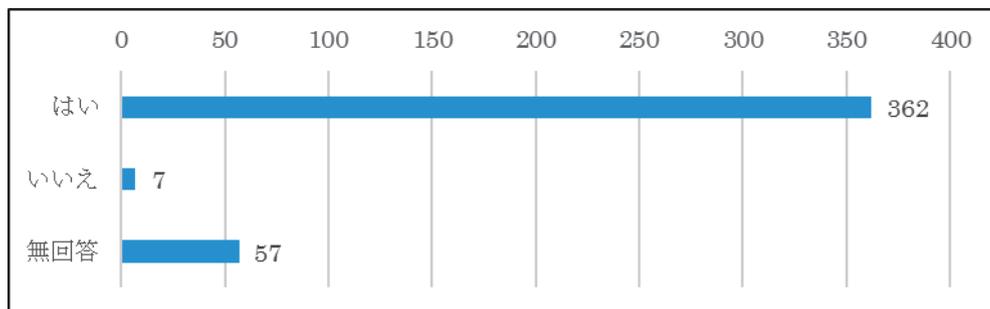


(9) 光市にまた訪れてみたいか

「はい」が362人(85.0%)、「いいえ」が7人(1.6%)となっています。

【現地調査】

(人)



その他の自由記述には、海に関する内容が多く、W i - F i環境の整備やトイレの洋式化、コインロッカーの設置、更衣室・シャワールームの整備・充実、海の家・カフェの増加、駐車場整備といったハード面の整備のほか、詳細なイベント情報や駐車場位置情報の提供といったソフト面のサービスを要望する声が寄せられています。



三島温泉 健康交流施設「ゆーぱーく光」

4 本市における観光の課題

(1) 観光資源の発掘と魅力向上

本市は、観光資源として、2つの海水浴場をはじめ、初代内閣総理大臣伊藤博文公生誕の地、四季を通じて花木が楽しめる冠山総合公園、三島温泉・光室積温泉などを有しています。

一方、本市のアンケート調査における「光市にどのようなイメージを持っているか」という問いに対する回答では、「海や山等の自然が豊か」が42%、「四季折々の花が楽しめる」が15%と高いものの、「歴史・文化遺産が多い」が5%、「観光地で訪れる施設が多い」が1%と低い結果となっています。

こうしたことから、多様化する観光客のニーズを踏まえ、観光資源一つひとつの魅力を磨き上げるとともに、新たな観光資源の発掘をし、さらに、それら複数の観光資源を相互につなぎ合わせるなど、市全体としての観光資源の魅力の向上が求められています。

(2) 「選ばれる観光地」への取組み

山口県の平成28年観光動態調査では、本市の観光客数は、県内13市中11番目となっています。また、アンケート調査結果によると、本市を訪れる観光客は、県外からの来訪者が約22%、また、日帰り客が約78%、さらに、滞在時間が平均2.2時間という状況となっています。

こうしたことから、魅力ある観光資源づくりはもとより、国・県が取り組むインバウンドへの対応を踏まえ、外国人も含めた県内外からの観光客誘致に向けたマーケティングを展開し、まちの魅力や観光資源の積極的なPRなどにより、多くの観光地・観光情報の中から、本市が「選ばれる観光地」となることが必要です。

(3) 観光産業の活性化

アンケート調査における「光市の観光の魅力度向上には、どうすれば良いか」という問いに対する回答では、「食事のできる施設」や「宿泊施設」、「土産物店」の充実が上位となっています。

こうしたことから、魅力のある土産品や特産品の開発、名物料理を提供する飲食店の充実などにより観光客を誘致し、本市を訪れた観光客の消費活動を地域の観光産業の活性化へとつなげる環境づくりが求められています。

(4) 観光ニーズに対応した新たな視点の導入

観光客の訪問先でのスタイルは、これまでの史跡や施設等を観光するだけでなく、まつりやスポーツイベント、さらには、日常では経験できない体験などを通して、観光先の歴史・文化伝統芸能や、自然景観、食などに触れ、地域住民とのふれあいを楽しむなど、観光ニーズが多様化しています。

こうしたことから、「見る観光」だけでなく、文化・スポーツや農業・漁業などの様々な産業、地域に根ざした活動・イベントを巻き込んだ「体験できる観光」メニューづくりなど、「観光ニーズ」に対応した新たな視点での取組みが求められています。

(5) 観光客の受入環境の整備

本市を訪れる観光客の満足度を高めるためには、本市の観光情報がわかりやすく、簡単に入手できる環境が必要です。また、観光客を受け入れる私たちが、地域の観光資源を知り、地域に誇りや愛着を持ちながら、「おもてなし」という気持ちで対応していく必要があります。

さらに、観光案内機能の充実や駐車場の確保などの受入環境の整備が求められています。



夕日の滝



石城山神籠石

石城山の八合目辺りに約2.6 kmにわたって巨石の列が鉢巻き状に取り巻いている謎の遺跡群。東西南北の4つの谷間には高い石の壁を築き、その下には人がやっとも潜れるくらいの水門が設けられています。国指定史跡。

第2章

目標と施策展開

- 1 基本方針
- 2 アクションプランの方向性
- 3 総合評価指標
- 4 アクションの体系
- 5 アクションの内容



伊藤公資料館

1 基本方針

「第2次光市総合計画」では、本市が目指す将来像

「ゆたかな社会 ～やさしさひろがる 幸せ実感都市 ひかり～」

を実現するために、「産業の活力とにぎわいがゆたかに行き渡るまち」を基本目標に掲げ、観光の振興と交流促進により、人が行き交い、にぎわう、活力あふれるまちを目指して、次の「基本方針」と「施策展開の方向」を定めています。

【基本方針】

時流を捉えた観光に関する「光市観光アクションプラン」を策定し、市内観光拠点のネットワーク化をはじめ、山口県や周南広域観光連携推進協議会等とも連携しながら、あらゆる媒体の活用による戦略的な情報発信を進め、観光客の誘致に努めます。

また、多様化する観光のニーズに対応できる人材の育成や、老朽化する観光施設等の更新など受入体制の整備を進めます。

さらに、特色ある祭りやイベント等の振興を図るとともに、スポーツ大会など、観光以外の交流人口の増加を図ります。

【施策展開の方向】

(1) 観光資源の創出とネットワークの形成

冠山総合公園、伊藤公記念公園などの観光拠点、室積・虹ヶ浜海岸など豊かな自然、第二奇兵隊や石城山神籠石などの歴史をテーマにした総合的な観光振興を図るため、関連施設や周辺環境の整備充実に努めるとともに、潜在する観光資源の掘り起こしと磨き上げを促進します。

また、観光案内所などの観光拠点や観光資源のネットワーク化を図り、「光の海」や光市農業振興拠点施設「里の厨」を活用したツーリズムの推進をはじめ、観光ボランティアの育成・支援や観光事業者等との連携による推進体制の充実など、本市の魅力を満喫できる観光振興に努めるとともに、観光関係者の主体的な取組みを促進し、観光関連産業の育成と活性化に努めます。

さらに、観光客のさらなる増加によるまちのにぎわいを創出するため、施策展開の計画を策定します。

このほか、県や周南広域観光連携推進協議会等と連携し、圏域内の広域観光ルートの構築に努め、観光誘客を推進します。

(2) 光ブランドイメージの創出と観光PRの推進

「光の海」をはじめとする、ゆたかな自然環境や歴史資源の活用により地域の独自性を高めるとともに、「光」をテーマとする事業の開発などにより固有の光ブランドイメージを創出します。

また、観光拠点・観光案内所の充実を図るとともに、多様化した観光需要に対応するため、観

光資源やイベント等を県内外はもとより、海外にも情報発信するため、ホームページの充実、観光案内看板や観光ガイドブック等の整備を推進するなど、各種メディアを活用した積極的な情報発信を展開します。

(3) 特色ある祭りやイベント等の振興

市のイメージアップと観光客の増加を図るため、海水浴場の安全性の向上を図るとともに、冠山総合公園や伊藤公資料館における特別展、花火大会など、地域資源を活かした特色あるイベント等を展開します。

また、伝統的な祭りや郷土芸能、風物詩の振興とPRにより、市内外からの集客の増加を図ります。

(4) 地域の特性を活かした多様な交流機会の創出

観光振興だけでなく、文化・スポーツ・産業など様々な視点から、交流を促進するとともに、地域の特性を活かしたまちづくりを推進することにより、交流人口の増加や地域経済の活性化を推進します。

また、本市の魅力創出や観光資源のネットワーク化等により回遊性の向上に努めるとともに、本市の特色を活かした、花や歴史といった各種のイベントをシリーズ化・通年化することにより、観光客のリピーター化や本市ファンの増加を目指します。



伊藤公資料館

2 アクションプランの方向性

本プランは、「第2次光市総合計画」で定めた基本方針に基づいた取組みを具現化する計画として策定するものです。

「第2次光市総合計画」に掲げた、4つの施策展開の方向については、その考え方を変えることなく、改めて観光の現状やアンケート調査結果、本市における観光の課題等を踏まえ、本市の観光のさらなる振興の視点から再整理を行い、プランの方向性として次の3つを定めました。

方向性Ⅰ 光ブランドの創出と魅力ある観光資源の創出

「光」という名前を活用した事業や「光」をテーマとした事業の展開、「光の海」を活用した賑わいの創出、伊藤公生誕地としての知名度向上やスポーツイベントの誘致と連携、さらには、本市の有する自然や歴史、文化をはじめ、新たな視点を加えた観光ルートの設定など、観光素材・メニューの発掘と磨き上げにより、光ブランドの創出と魅力ある観光資源の創出を目指します。

方向性Ⅱ 多様化する観光ニーズに対応した受入環境の構築

本市の観光の魅力度を高めるため、自然や歴史、文化などの資源に加え、民間事業者等との連携のもと、「食べる」、「泊まる」、「体験する」、「和む」といった機能の拡充をはじめ、市民や関係団体等との協力による「おもてなし」の視点からの環境づくりなど、観光客の年代や性別、趣味・嗜好等により多様化する観光ニーズに対応した受入環境の構築を目指します。

方向性Ⅲ 幅広い媒体を活用した戦略的プロモーションの展開

本市が「選ばれる観光地」となるためには、魅力ある観光資源と観光ニーズに対応した受入環境を市内外の多くの人に知ってもらう必要があります。このため、ターゲットに応じて幅広い媒体、様々な機会を活用し、効果的・効率的にシティセールスや情報発信を図るなど、戦略的なプロモーションの展開を目指します。

3 総合評価指標

「光市観光基本構想」で掲げた「観光入込客数の目標 100 万人／年」が、最終年の平成 28 年に 95 万 7,000 人と目標未達成であったことも踏まえ、目標達成の評価を行うための総合的な評価指標を次のとおりとします。

平成34年 観光客数(年間) 110万人以上



ばら祭り（冠山総合公園）



渚のライトアップ（虹ヶ浜海水浴場）

7月から8月にかけて、虹ヶ浜海水浴場の砂浜約200mにコンピュータープログラミングを使用した特殊照明装置によって夜間の砂浜をライトアップし、幻想的な空間を演出。

第2次光市総合計画

光市観光アクションプラン

第2次光市総合計画
施策展開の方向性

方向性

アクション

第2次光市総合計画 主な事業例

(1) 観光資源の創出と
ネットワークの形成

(2) 光ブランドイメージの
創出と観光PRの推進

(3) 特色ある祭りや
イベント等の振興

(4) 地域の特性を活かした
多様な交流機会の創出

**I 光ブランドの創出と
魅力ある観光資源の創出**

**II 多様化する観光ニーズに
対応した受入環境の構築**

**III 幅広い媒体を活用した
戦略的プロモーションの展開**

1 「光の海」を活用した賑わいの復活

2 「光」をテーマとした話題性の創出

3 伊藤公生誕地としての知名度向上

4 スポーツイベント等の誘致促進と連携

5 観光モデルコースの構築

1 観光関連産業の拡充

2 グリーンツーリズム・
ブルーツーリズムの推進

3 「おもてなし」の充実

1 シティセールスと情報発信の強化

2 広域連携の強化

海水浴場集客向上対策の推進

光ブランドイメージの創出

通年型イベント（花・歴史）の開催

伊藤公記念公園の整備と活用

明治維新150年記念事業の展開

各種スポーツイベント・
スポーツ教室の開催

観光モデルコースの構築

新たな観光資源の開発・整備

グリーンツーリズム・
ブルーツーリズムの推進

観光拠点・観光案内の充実

ボランティアガイドの育成・支援

観光情報の発信

観光資源のネットワーク化の推進

5 アクションの内容

方向性Ⅰ 光ブランドの創出と魅力ある観光資源の創出

アクション Ⅰ-1	「光の海」を活用した賑わいの復活				
概要	本市を代表する観光資源である「美しい自然海岸」の往時の賑わいを取り戻すための対策を検討します。				
施策例	① 海水浴をイメージできる、まちの統一的な雰囲気づくりの調査研究 ② 食事・休憩施設など、人々が集まり楽しめる施設やコンテンツなど民間の創意工夫を活用した「にぎわい空間」の調査研究				
主な関係部署	経済部、環境部、建設部				
実施時期	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
	→				



サンドアート in 光



虹の鯉のぼりプロジェクト

アクション I-2	「光」をテーマとした話題性の創出				
概要	自然が豊かで四季折々の花が楽しめるといった光市のイメージをさらに高めるため、既存のイベントの創意工夫による充実や、新規事業の調査研究に取り組みます。				
施策例	① 「渚のライトアップ」や「灯花祭」など「光」をテーマとしたイベントの創意工夫による充実 ② 市民や関係団体等と連携しながら、観光資源の魅力の発掘や磨き上げを行い、情報発信できる仕組みづくり ③ 「だるま夕日」や「イワシの打上げ」など光市オリジナルの素材を活用した事業の展開 ④ 光の自然を活用したイベントや体験教室の創意工夫による充実と新規事業の調査研究				
主な関係部署	経済部、政策企画部、建設部				
実施時期	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
	➔				



灯花祭



だるま夕日

アクション I-3	伊藤公生誕地としての知名度向上				
概要	平成30年の明治維新150年を迎えるにあたり、近代国家の礎を築き、「光」を灯す重要な役割を担った一人である、初代内閣総理大臣伊藤博文公の生誕地としての知名度向上に取り組みます。				
施策例	① 「明治維新150年カウントダウン記念企画展伊藤ドラマ」の開催 ② 「伊藤公生家茅屋根の葺き替え」体験事業 ③ 「山口ゆめ花博」の開催協力と光市デーのイベント展開 ④ 幕末維新をテーマとした山口県の観光キャンペーン「やまぐち幕末ISHIN祭」でのPRの強化 ⑤ 観光物産PR展等でのPRの強化				
主な関係部署	経済部、建設部、教育委員会				
実施時期	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
	→ ①②③④				→



伊藤博文公



伊藤公生家紅葉

アクション I-4	スポーツイベント等の誘致促進と連携				
概要	交流人口の増加に向け、既存の観光資源だけでなく、スポーツイベント等の誘致による「楽しみ」の場の創出と、それらとの連携による観光PRに取り組みます。				
施策例	<ul style="list-style-type: none"> ① サンセットビーチランをはじめとするスポーツイベント等を活用した観光PR ② 関係団体等と連携したスポーツ・レクリエーション活動等の誘致促進 ③ 「レノファ山口」をはじめとした県内スポーツ団体との連携やサイクルエイドの設置などへの協力 				
主な関係部署	経済部、政策企画部、福祉保健部、教育委員会				
実施時期	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
	➡				

アクション I-5	観光モデルコースの構築				
概要	本市の観光資源の魅力を高め、観光客の滞在時間の延長を促進するため、一つひとつの観光資源を有機的につなぎ合わせた観光モデルコースの構築に取り組みます。				
施策例	<ul style="list-style-type: none"> ① 現行のモデルコースの見直しと、自然・歴史・文化などのテーマ性をもった観光コースの設定 ② 「食べる」、「泊まる」、「体験する」、「和む」などの視点をつなぎ合わせた観光コースの設定 ③ 周辺市町と連携した観光モデルコースの構築と調査研究 				
主な関係部署	経済部、福祉保健部、教育委員会				
実施時期	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
	➡				

方向性Ⅱ 多様化する観光ニーズに対応した受入環境の構築

アクション Ⅱ-1	観光関連産業の拡充				
概要	観光による効果を市内で循環させることによる、地域の活性化を図るため、関係事業者等と連携しながら魅力のある土産品・特産品の開発や、飲食店・宿泊施設の誘致など、観光関連産業の拡充を促進します。				
施策例	① 「光」という名前や地域資源を活用した魅力のある土産品や特産品の開発促進 ② 地元食材を活用したご当地グルメの開発促進による「食」の魅力づくり ③ 飲食店や宿泊施設をはじめとする観光関連産業の立地促進による拡充 ④ 地元産海産物が販売できる場の調査研究				
主な関係部署	経済部、福祉保健部				
実施時期	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
	→			①	→



イチゴソフトクリーム



あかもぐ



梅大福



ひかり冠梅



虹の松原



開運イチヨウカード



米のおっぱい
光市観光協会「ひかり花館」販売

アクション Ⅱ-2	グリーンツーリズム・ブルーツーリズムの推進				
概要	グリーンツーリズムやブルーツーリズムなど第一次産業と連携した体験型・着地型旅行の受入環境づくりに取り組みます。				
施策例	① 里の厨等を活用したグリーンツーリズムの推進 ② 山口県スポーツ交流村等を活用したブルーツーリズムの推進				
主な関係部署	経済部、教育委員会				
実施時期	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
	➔				

- * 1 グリーンツーリズム ・ ・ 農山漁村地域において、自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動のこと。
- * 2 ブルーツーリズム ・ ・ 魅力的で充実したマリンライフの体験を通じて心と体をリフレッシュさせる余暇活動のこと。



セーリングチャレンジ(山口県スポーツ交流村)



そば打ち体験(里の厨)

アクション Ⅱ-3	「おもてなし」の充実				
概要	本市を訪れる観光客に満足してもらい、再び来訪してもらうため「おもてなし」という視点による、本市の観光情報・案内の提供や環境づくりに取り組みます。				
施策例	① 「古地図を片手にまちを歩こう」事業の拡充とボランティアガイドの育成・支援 ② 市内観光関連団体や施設でのクーポンやスタンプラリーなど、各種イベントを連結したプログラム等の共同企画・実施 ③ 観光資源を面的につなぐ公共交通網の整備 ④ インバウンド対応として英語版「光市観光ガイドBOOK」や山口県観光連盟が提供する外国人観光客向けサービス「やまぐちコールセンター」などの周知・活用				
主な関係部署	経済部、教育委員会				
実施時期	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度



室積観光ボランティアガイド



世界スカウトジャンボリー(室積海水浴場)

方向性Ⅲ 幅広い媒体を活用した戦略的プロモーションの展開

アクション Ⅲ－１	シティセールスと情報発信の強化				
概要	本市のイメージと知名度の向上を図るため、様々な媒体を積極的に活用することにより、シティセールスと情報発信の強化に取り組みます。				
施策例	① WebやSNS等を活用したイメージアップ戦略の展開 ② 都市圏での観光プロモーションの推進 ③ 映画・ドラマ・CM・プロモーションビデオ等の撮影誘致やフィルムコミッションなどの受入環境づくりの促進 ④ キャラクターなどを活用した観光PRの推進 ⑤ 駅等を活用した観光案内など観光情報案内の強化				
主な関係部署	経済部、政策企画部、福祉保健部				
実施時期	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
	➡				

アクション Ⅲ－２	広域連携の強化				
概要	本市だけでなく、県や周辺市との広域連携により、それぞれの地域の観光資源を有機的につなぐとともに、観光PRなどの一体的な取り組みを進めます。				
施策例	① 山口県や（一社）山口県観光連盟との連携強化による大型観光キャンペーンの推進 ② 周南広域観光連携推進協議会との連携強化による観光周遊促進事業や観光PR事業の推進				
主な関係部署	経済部				
実施時期	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
	➡				

第3章

達成状況の評価

- 1 目標の進行管理
- 2 目標の評価指標
- 3 施策の推進にあたって



光市観光協会キャラクター
ひかキョン

1 目標の進行管理

本プランの推進にあたっては、社会環境や市民ニーズの変化にあわせた施策の展開が必要になります。このため、「(仮称) 光市観光アクションプラン推進懇話会」を定期的を開催することによって、毎年度実施している光市まちづくり市民アンケートの結果や観光客数などの状況を報告し、取組みの成果を評価・検証します。そして、必要に応じて、懇話会からの意見・助言等を踏まえ、アクションの見直し・改善を行うなど、Plan（施策事業の策定）、Do（事業の実施）、Check（評価・検証）、Action（改善）からなるPDCAサイクルを活用しながら、観光施策の推進に取り組みます。



2 目標の評価指標

方向性Ⅰ 光ブランドの創出と魅力ある観光資源の創出

指標項目	近況値	目標値 (平成34年度)
土産品・特産品の新規商品開発 【ひかり花館・里の厨等で販売する】 【支援制度を活用した商品】	2件 (平成29年度)	合計5件
観光ボランティアガイド登録数	7人 (平成29年度)	12人
観光モデルコース (広域連携のモデルコースも含む)	5コース (平成29年度)	10コース

方向性Ⅱ 多様化する観光ニーズに対応した受入環境の構築

指標項目	近況値	目標値 (平成34年度)
観光の振興に対する満足度 【光市 まちづくり市民アンケート】	15.8% (平成29年度)	26.6%
来訪者満足度 (とてもよい) 【現地調査アンケート】	39.4% (平成28年度)	48.0%
来訪者リピーター率 (また訪れたい) 【現地調査アンケート】	85.0% (平成28年度)	90.0%

方向性Ⅲ 幅広い媒体を活用した戦略的プロモーションの展開

指標項目	近況値	目標値 (平成34年度)
フェイスブック いいね! の数 【光市フェイスブック 観光関連】	3,251 いいね! (平成28年度)	6,000 いいね!
観光協会HP ページビュー数	108,614 PV (平成28年度)	185,000 PV
情報発信の回数 【光市フェイスブック、各種イベント情報サイト等】	65回 (平成28年度)	100回

3 施策の推進にあたって

本市の観光振興を図るため、市や観光協会、民間等の各主体が、役割を分担し、相互に連携を図りながら、主体的・積極的に取り組んでいくことが重要です。

(1) 市の役割

観光に関する情報収集や調査研究を行うとともに、国・県をはじめ関係市町や観光協会、観光事業者及び市民（市民活動団体を含む。）との連携を図りながら、本プランに掲げた施策例を総合的に推進します。また、本プランを所管する経済部だけでなく、庁内関係部署が展開する施策との連携を図ります。

(2) 観光協会に期待される役割

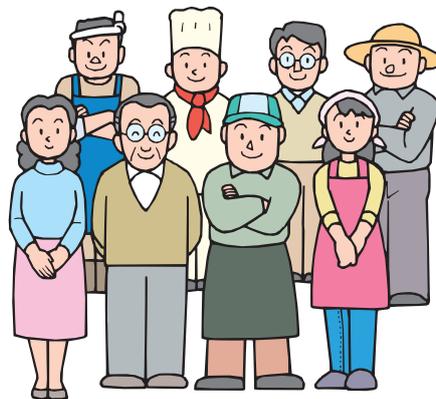
観光協会は、本市の観光振興の中心的な役割を担う団体であり、市や観光事業者、市民などとの連携・調整を図り、具体的な事業やイベントを実施します。また、観光に関する情報の収集をはじめ、積極的かつ効果的な情報発信やPR・案内などに取り組むことが期待されます。

(3) 観光事業者に期待される役割

商工業や農業、水産業等の事業者は、観光客の多様なニーズに対応した魅力ある商品づくりや和みの場の創造、質の高いサービスの提供など、観光関連産業の拡充が期待されます。また、観光振興事業と積極的な関わりを持つとともに、商工会議所や商工会を中心に、事業者同士や他団体との連携が期待されます。

(4) 市民に期待される役割

市民は、来訪者の満足度や感動を高めるため、それぞれの地域の自然や歴史・文化、食、暮らしなどの魅力を伝えるなど、本市への愛着と誇りを持ったあたたかいおもてなしを実践することが期待されます。



参考資料

- 1 光市観光アクションプラン
策定懇話会設置要綱
- 2 光市観光アクションプラン
策定懇話会委員
- 3 アンケート調査（郵送調査）
- 4 アンケート調査（現地調査）



みたらい湾花火大会

1 光市観光アクションプラン策定懇話会設置要綱

(設置)

第1条 光市観光アクションプラン（以下「プラン」という。）の策定に関し、専門的な見地及び広く市民からの意見、助言等を求めるため、光市観光アクションプラン策定懇話会（以下「懇話会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 懇話会は、プランの策定に関する事項その他懇話会が必要と認める事項について協議する。

(組織)

第3条 懇話会は、委員20人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 観光関連団体等の関係者
- (2) 経済団体等の関係者
- (3) 観光・文化施設等の関係者
- (4) 交通事業等の関係者
- (5) 公募により選出された者
- (6) 関係行政機関の職員
- (7) その他市長が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、前条第2項の規定により市長が委嘱し、又は任命した日からプランの策定が完了するまでとする。

(会長及び副会長)

第5条 懇話会に会長及び副会長を各1人置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、懇話会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長が欠けたとき、又は会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 懇話会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集する。

2 会議の議長は、会長をもって充てる。

3 会議には、委員のほか必要に応じて会長が認める者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

4 会議は、原則として公開とする。

(庶務)

第7条 懇話会の庶務は、光市経済部商工観光課において行う。

(その他)

第8条 この告示に定めるもののほか、懇話会の運営に関し必要な事項は、会長が会議に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この告示は、平成29年4月25日から施行する。

(会議の招集の特例)

2 この告示の施行後、最初の会議は、第6条第1項の規定にかかわらず、市長が招集する。

(この告示の失効)

3 この告示は、第4条に規定するプランの策定が完了する日限り、その効力を失う。

2 光市観光アクションプラン策定懇話会委員（敬称略）

氏名	所属等	備考
宮地 理	一般社団法人山口県観光連盟	
松原 眞喜雄	光市観光協会	会長
田中 顕治	株式会社JTB中国四国徳山支店	
足立 基樹	光商工会議所	
轟 紀子	大和商工会	
前田 耕作	かんぼの宿 光	
川畑 真弥	山口県飲食業生活衛生同業組合光支部	
時 弘 潤	山口県菓子工業組合光支部	
友重 康代	冠山総合公園	
中村 光恵	山口県スポーツ交流村	
佐野 三和子	光市農業振興拠点施設里の厨	
津川 輝久	三島温泉健康交流施設ゆーぱーく光	
森重 美典	伊藤公資料館	副会長
藤井 利行	西日本旅客鉄道株式会社	
藤本 利夫	防長交通株式会社	
吉本 英夫	光市	

光市の観光に関するアンケート調査 調査票

光市では、本年度、観光振興を進めていくための行動計画「観光アクションプラン」の策定に取り組んでいます。

このアンケートは、観光客の皆様にご満足いただける魅力的な観光地づくりを検討するため、任意に抽出した「光市から転出者された方」及び「光市へ転入された方」を対象に、光市の観光に関するイメージやご意見等をお尋ねし、計画策定に向けた基礎資料とするものです。

ご回答いただいた内容はすべて統計的に処理し、上記の目的以外に使用することはありません。

ご多用のところ誠に恐れ入りますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成29年7月

光 市

参考資料

〈問合せ・連絡先〉

経済部商工観光課観光係 担当：植木

TEL：0833-72-1532

<p>(8)光市の観光について (複数選択可)</p>	<p>光市のどこに行ったことがありますか</p> <p>1. 虹ヶ浜海水浴場・渚のライトアップ 2. 室積海水浴場 3. 冠山総合公園（イベントを含む） 4. 山口県スポーツ交流村 5. 三島温泉健康交流施設ゆーぱーく光 6. 牛島 7. 峨嵋山・象鼻ヶ岬 8. 光ふるさと郷土館 9. 普賢寺 10. 海商通り 11. フィッシングパーク光 12. 伊藤公資料館 13. 光市農業振興拠点施設里の厨 14. 石城山県立自然公園（石城神社・神籠石等） 15. その他（ ）</p>
<p>(9)光市のイメージについて (複数選択可)</p>	<p>あなたは光市にどのようなイメージを持っていますか</p> <p>1. 海や山等の自然が豊か 2. 歴史・文化遺産が多い 3. 四季折々の花が楽しめる 4. アウトドア等の様々な体験ができる 5. 温泉が楽しめる 6. 食事がおいしい 7. お土産が充実している 8. 観光等で訪れる施設が多い 9. 楽しめるイベントが多い 10. 道路や駐車場等の交通アクセスが良い 11. 鉄道やバスなどの公共交通の利便性が良い 12. 特にイメージがない 13. その他（ ）</p>
<p>(10)光市の観光情報等について (3つまで選択可)</p>	<p>光市の観光情報を市外の方にもっと知っていただくためには何を充実すべきだと思いますか</p> <p>1. 広報誌への観光記事の記載 2. 光市観光協会のホームページの充実 3. 光市のホームページの充実 4. SNS等での情報発信 5. 観光パンフレットの充実 6. 県や近隣自治体との連携強化 7. 新聞、テレビ、ラジオ等のマスメディアへの働きかけ 8. 市役所や公共施設等の窓口での積極的なPR 9. その他（ ）</p>
<p>(11)光市の観光の魅力向上について (3つまで選択可)</p>	<p>光市の観光の魅力向上について、どうすればよいと思いますか</p> <p>1. 街並みをきれいにし、歩道の整備 2. 公共交通の充実 3. 交通アクセスの充実（駐車場を含む） 4. 宿泊施設の充実 5. 観光案内施設・案内板等の充実 6. 観光施設のトイレの充実 7. 食事のできる施設の充実 8. 土産物店の充実 9. 滞在・体験プログラムの開発 10. 観光情報の発信の充実 11. 観光ボランティアガイドの充実 12. その他（ ）</p>

<p>(12)光市のセールスポイントについて (複数選択可)</p>	<p>光市の観光に関するセールスポイントは何だと思いますか</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 初代内閣総理大臣「伊藤博文公の生誕の地」であること 2. 第二奇兵隊練兵場跡や国指定史跡「石城山神籠石」、国の重要文化財「石城神社」のある石城山県立自然公園 3. 新鮮な地元の食材や加工品を販売している「里の厨」 4. 環境省の選定する快水浴場百選にも選ばれ、良好な水質と、白砂青松が広がる「室積・虹ヶ浜の両海水浴場」 5. 虹ヶ浜海岸の「渚のライトアップ」 6. 夏と秋に開催される「花火大会」(光花火大会・みたらい湾花火大会) 7. ヨットやマリンスポーツを楽しむことができる「山口県スポーツ交流村」 8. 梅やバラなど四季折々の花を楽しむことができる「冠山総合公園」 9. 菅原道真にゆかりのある「冠天満宮」 10. 普賢寺、専光寺、早長八幡宮等の社寺仏閣や室町時代から山陽海路の要衝として繁栄した面影を残す「海商通りのある室積地区」 11. 県天然記念物クサフグの産卵地であり、国の天然記念物にも指定されている峨嵋山樹林帯を含む「象鼻ヶ岬」 <p>その他、場所・もの・人物などセールスポイントについてご自由にご記入ください。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>例. 伊藤博文公をもっと前面に出してPRをした方がいいのでは</p> </div>
--	---

光市の観光に関するご意見、ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

光市の観光に関するアンケート調査 調査票

この度は、ようこそ光市へお越しくださいました。お忙しいところお手数でございますが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

※ご回答いただいた内容は統計的に処理し、本市の観光政策の推進に活用します。

光市経済部商工観光課観光係

番号を選択する場合は、**どれか1つに○**をしてください。

(1)お住まい	_____都・道・府・県 _____市・町・村
(2)性別	1. 男性 2. 女性
(3)年齢	1. 19歳以下 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代以上
(4)どなたと何人でいらっしゃいましたか	1. 一人で 2. 友人等グループ旅行 3. 旅行会社のツアー 4. 家族旅行 5. 社員旅行 6. その他() _____人
(5)職業等	1. 学生 2. 自営業 3. 会社員・公務員 4. パート・アルバイト 5. 主婦 6. 無職 7. その他()
(6)交通手段 (複数選択可)	1. 自家用車 2. 鉄道 3. 飛行機 4. 観光バス 5. 知人友人の車 6. レンタカー 7. 路線バス 8. タクシー 9. 徒歩 10. その他()
(7)光市を訪れた回数	1. はじめて 2. 2回目 3. 3回目 4. 4回目以上
(8)滞在期間 (予定を含む)	1. 日帰り(_____時間) 2. 宿泊した(①1泊 ②2泊 ③3泊) もしよろしければ宿泊施設をご記入ください(予定含む) 宿泊施設名 _____
(9)情報源	今回の旅行を計画するときに利用した情報源は何ですか 1. 旅行会社 2. ガイドブック 3. 新聞・雑誌 4. テレビ・ラジオ 5. ポスター・パンフレット 6. ホームページ・SNS 7. 知人にすすめられて 7. 以前に来て良かったから 8. その他()

引続き裏面のご記入をお願いします。

(10) 光市への 観光について (複数選択可)	光市のどこを観光されます(ました)か(過去も含む) 1. 虹ヶ浜海水浴場 2. 渚のライトアップ 3. 山口県スポーツ交流村 4. ゆーぱーく光 5. 冠山総合公園(イベントを含む) 6. 象鼻ヶ岬 7. 峨嵋山 8. 普賢寺 9. 光ふるさと郷土館 10. 海商通り 11. フィッシングパーク光 12. 室積海水浴場 13. 伊藤公資料館 14. 里の厨 15. 石城山県立自然公園(石城神社・神籠石等) 16. その他()																
(11) 旅行費用 について	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">【団体旅行・パック旅行・ツアーの方】</td> <td style="text-align: center;">【それ以外の方】</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">パック料金</td> <td style="text-align: center;">_____円</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">以下はわかる範囲でお答えください</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">宿泊費</td> <td style="text-align: center;">_____円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">お土産購入費</td> <td style="text-align: center;">_____円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">飲食費</td> <td style="text-align: center;">_____円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">交通費</td> <td style="text-align: center;">_____円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">その他(入場料等)</td> <td style="text-align: center;">_____円</td> </tr> </table>	【団体旅行・パック旅行・ツアーの方】	【それ以外の方】	パック料金	_____円	以下はわかる範囲でお答えください		宿泊費	_____円	お土産購入費	_____円	飲食費	_____円	交通費	_____円	その他(入場料等)	_____円
【団体旅行・パック旅行・ツアーの方】	【それ以外の方】																
パック料金	_____円																
以下はわかる範囲でお答えください																	
宿泊費	_____円																
お土産購入費	_____円																
飲食費	_____円																
交通費	_____円																
その他(入場料等)	_____円																
(12) 光市の印象 について	1. とてもよい 2. よい 3. 普通 4. あまりよくない 5. よくない																
(13) 光市にまた訪れてみたいですか	1. はい 2. いいえ																

光市の観光に関するご意見、ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

光市観光アクションプラン

平成 30 年 3 月

発行 / 山口県光市

編集 / 光市経済部商工観光課

〒743-8501 光市中央六丁目 1 番 1 号

TEL 0833-72-1532 FAX 0833-72-8981